

ノートルダム清心女子大学に対する大学評価（認証評価）結果

I 評価結果

評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。
認定の期間は2024（平成36）年3月31日までとする。

II 総 評

貴大学は、1886（明治19）年にイエズス会が設立した岡山女学校に淵源を持ち、1949（昭和24）年、岡山県岡山市に県下初の4年制女子大学として開学した。以来、カトリック精神に基づく女子教育に専念し、現在、文学部、人間生活学部の2学部、文学研究科、人間生活学研究科の2研究科を有している。

教育理念は「キリスト教精神にもとづいて、真なるもの・善なるもの・美なるもの追求」におかれ、「リベラル・アーツ・カレッジとしての性格をもち、教育・研究を通して真の自由人の育成を志し、社会生活を遂行する手段を供するとともに、むしろそれ以上に生きることの意義を共に追求することをもって大学の使命とする」としている。就職率は全国トップクラスにあるが、真に誇るべき価値は、それがリベラル・アーツ教育の成果にほかならないという点にある。特筆すべきは、少人数教育に基づくアドバイザー制度、学務部学生係を中心にした関係部署の緊密な連携体制、教職協働の学生の顔が見えるきめ細かな学生支援である。また、近年の留年者、休・退学者の割合も非常に低く、生きることの意義を共に追求するという教育理念を下から支えるものとして評価できる。

2009（平成21）年度に行われた本協会の大学評価（認証評価）の指摘に対し、2013（平成25）年度に改善報告書を取りまとめて改善に努めてきたものの、今回の評価においても自己点検・評価の結果を改善に結び付ける明確な体制と、教職員間での共通理解を求めるといった指摘に関して改善が見られなかった。このほかにも学部ごとの学位授与方針の策定、一部研究科の学位授与方針や学位論文審査基準の見直し、研究倫理を浸透させるための措置、さらに学生の受け入れでは、収容定員に対する在籍学生数比率が一部の学部においては高く、研究科においては低いことなどの課題がある。

今後は、これらの諸課題に対応しつつ、2014（平成26）年度に新設したIRセンターを中心にこれまでの体制を検証・整理し、内部質保証システムを恒常的かつ有効に機能させ、改善に取り組んでいくことが望まれる。